2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月16日

上場会社名　　株式会社日本動物高度医療センター　　上場取引所　東
コード番号　　6039　　ＵＲＬ　https://www.jarmec.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）平尾　秀博
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）大江　正巳　　ＴＥＬ　044（850）1320

半期報告書提出予定日　　2026年11月16日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	3,367	11.0	725	22.8	713	21.0	489	18.4
2026年３月期中間期	3,033	18.1	591	68.4	589	67.5	413	70.2

（注）包括利益　2027年３月期中間期　489百万円（18.4%）　2026年３月期中間期　413百万円（70.2%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	37.86	－
2026年３月期中間期	31.97	－

（注）１．潜在株式調整後１株当たり中間純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
２．当社は、2025年12月17日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「１株当たり中間純利益」を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	11,318	5,207	46.0
2026年３月期	11,313	4,881	43.1

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　5,207百万円　2026年３月期　4,881百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	12.00	12.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			0.00	13.00	13.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	6.6	1,270	10.4	1,220	6.8	890	6.8	68.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料８ページ「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：有
④ 修正再表示　：無

（注）詳細は、添付資料８ページ「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（会計上の見積りの変更に関する注記）」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	14,391,000株	2026年３月期	14,391,000株
② 期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,465,940株	2026年３月期	1,466,540株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	12,924,751株	2026年３月期中間期	12,923,807株

（注）１．期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託（J-ESOP）信託口が保有する当社株式が含まれております。

２．当社は、2025年12月17日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料３ページ「１.経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況…… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（会計上の見積りの変更に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

動物医療業界におきましては、ペットの家族化、高齢化に伴う疾病の多様化等により、高度な動物医療への期待は年々高まっております。

このような環境の中、当社グループは、“かかりつけの動物病院と連携し、より高度な医療・寄り添う心で、どうぶつを愛する家族の希望となる。”を使命とし、飼い主様のかかりつけ病院（一次診療施設様）から紹介を受けて行う二次診療サービスを中心に、MRI・CT等による動物画像検査専門の画像診断サービス、及び動物用医療機器・健康管理機器（在宅ケア）のレンタル・販売を展開しております。

まず、中核となる二次診療サービスにつきましては、引き続き進めている診療受け入れ能力の強化により診療数は順調に拡大し、初診数（新規に受け入れた症例数）は5,978件（前年同期比8.3％増）、総診療数（初診と再診の症例数の合計）は20,143件（前年同期比6.8％増）、二次診療分野の手術数は1,784件（前年同期比3.4％増）となりました。また、連携病院数は4,842施設となり、前年同期から126施設増加いたしました。

なお、将来的には、開発中の次世代型電子カルテシステムの導入により、業務の効率化のみならず、診療オペレーションの最適化やデータの高度な利活用の実現を見込んでおります。

次に、画像診断サービスにおいては、検査件数は前年比微増でしたが、動物用医療機器・健康管理機器（在宅ケア）のレンタル・販売は前期からの営業強化策が奏功し、レンタル件数が拡大いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は3,367,007千円（前年同期比11.0％増）となりました。利益面につきましても、増収効果に加え、前年度に実施した価格改定効果や継続的な生産性向上の取り組み等が寄与し、営業利益は725,826千円（前年同期比22.8％増）、経常利益は713,497千円（前年同期比21.0％増）、親会社株主に帰属する中間純利益は489,405千円（前年同期比18.4％増）となりました。

詳細は、2026年11月16日付「2027年３月期　第２四半期（中間期）決算説明資料」をご参照ください。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は1,731,750千円となり、前連結会計年度末に比べ379,216千円減少いたしました。これは主に商品及び製品が45,076千円、売掛金及び契約資産が34,514千円増加した一方で、現金及び預金が471,930千円減少したことによるものであります。固定資産は9,586,282千円となり、前連結会計年度末に比べ383,260千円増加いたしました。これは主にソフトウエア仮勘定が230,789千円、工具、器具及び備品が162,355千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は11,318,033千円となり、前連結会計年度末に比べ4,044千円増加いたしました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は3,377,091千円となり、前連結会計年度末に比べ360,843千円減少いたしました。これは主に短期借入金が199,000千円、未払金が153,862千円減少したことによるものであります。また、固定負債は2,733,410千円となり、前連結会計年度末に比べ38,732千円増加いたしました。これは主に短期借入金の借換えに伴う長期借入金の増加367,000千円及び１年内返済予定の長期借入金への振替による減少341,158千円によるものであります。

この結果、負債合計は6,110,501千円となり、前連結会計年度末に比べ322,111千円減少いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は5,207,532千円となり、前連結会計年度末に比べ326,155千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益489,405千円の増加及び利益剰余金の配当による減少163,485千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、営業活動による資金の増加613,071千円、投資活動による資金の減少748,870千円、財務活動による資金の減少336,131千円の結果、前連結会計年度末に比べ471,930千円減少し、1,120,955千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、613,071千円（前年同期比8.8%増）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益714,277千円、減価償却費240,140千円、法人税等の支払額217,360千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、748,870千円（前年同期比84.9%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出506,332千円、無形固定資産の取得による支出228,132千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、336,131千円（前年同期比197.6%増）となりました。これは主に、長期借入れによる収入367,000千円があった一方で、短期借入金の返済による支出367,000千円、長期借入金の返済による支出337,469千円及び配当金の支払いによる支出162,562千円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月15日付「2026年３月期決算短信[日本基準]（連結）」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,592,885	1,120,955
売掛金及び契約資産	367,284	401,798
商品及び製品	73,014	118,091
原材料及び貯蔵品	20,408	27,256
その他	66,334	75,237
貸倒引当金	△8,959	△11,588
流動資産合計	2,110,967	1,731,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,169,022	2,118,421
工具、器具及び備品（純額）	1,715,682	1,878,038
土地	4,329,353	4,332,289
その他（純額）	4,645	52,228
有形固定資産合計	8,218,703	8,380,977
無形固定資産		
のれん	122,219	112,034
商標権	261,278	239,505
ソフトウエア仮勘定	137,258	368,048
その他	34,566	27,478
無形固定資産合計	555,322	747,065
投資その他の資産	428,995	458,239
固定資産合計	9,203,022	9,586,282
資産合計	11,313,989	11,318,033
負債の部		
流動負債		
買掛金	72,030	92,669
未払金	324,234	170,371
短期借入金	2,038,000	1,839,000
１年内返済予定の長期借入金	644,099	647,788
未払法人税等	239,135	253,645
賞与引当金	178,218	167,746
その他	242,216	205,870
流動負債合計	3,737,934	3,377,091
固定負債		
長期借入金	2,476,847	2,502,689
株式給付引当金	64,580	83,931
退職給付に係る負債	51,250	54,100
繰延税金負債	57,836	50,483
資産除去債務	43,849	42,101
その他	313	105
固定負債合計	2,694,677	2,733,410
負債合計	6,432,612	6,110,501
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,600	801,600
資本剰余金	720,405	720,405
利益剰余金	3,912,404	4,238,324
自己株式	△553,034	△552,799
株主資本合計	4,881,376	5,207,532
純資産合計	4,881,376	5,207,532
負債純資産合計	11,313,989	11,318,033

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,033,666	3,367,007
売上原価	1,823,086	1,926,502
売上総利益	1,210,579	1,440,505
販売費及び一般管理費	619,527	714,679
営業利益	591,051	725,826
営業外収益		
受取家賃	12,063	12,063
受取補償金	－	8,250
その他	9,832	6,448
営業外収益合計	21,895	26,761
営業外費用		
支払利息	17,679	35,114
資金調達費用	1,534	1,534
その他	3,996	2,441
営業外費用合計	23,211	39,090
経常利益	589,735	713,497
特別利益		
固定資産売却益	－	826
特別利益合計	－	826
特別損失		
固定資産売却損	－	45
特別損失合計	－	45
税金等調整前中間純利益	589,735	714,277
法人税等	176,466	224,872
中間純利益	413,268	489,405
親会社株主に帰属する中間純利益	413,268	489,405

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	413,268	489,405
中間包括利益	413,268	489,405
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	413,268	489,405

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	589,735	714,277
減価償却費	283,218	240,140
のれん償却額	10,184	10,184
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,210	2,628
賞与引当金の増減額（△は減少）	△35,731	△10,472
株式給付引当金の増減額（△は減少）	15,667	19,546
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	3,350	2,850
支払利息	17,679	35,114
資金調達費用	1,534	1,534
受取補償金	－	△8,250
固定資産売却損益（△は益）	－	△780
固定資産除却損	2,447	1,468
売上債権の増減額（△は増加）	△39,957	△34,514
棚卸資産の増減額（△は増加）	△13,488	△64,020
仕入債務の増減額（△は減少）	1,652	20,638
未収消費税等の増減額（△は増加）	4,461	－
未払消費税等の増減額（△は減少）	△55,971	△56,286
その他	△19,017	△17,845
小計	766,976	856,215
利息及び配当金の受取額	1,146	2,081
利息の支払額	△17,868	△36,114
補償金の受取額	－	8,250
法人税等の支払額	△186,738	△217,360
営業活動によるキャッシュ・フロー	563,515	613,071
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△394,066	△506,332
有形固定資産の売却による収入	－	908
無形固定資産の取得による支出	－	△228,132
保険積立金の積立による支出	△16,671	△16,779
その他	5,680	1,465
投資活動によるキャッシュ・フロー	△405,057	△748,870
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	460,000	168,000
短期借入金の返済による支出	△231,000	△367,000
長期借入れによる収入	88,000	367,000
長期借入金の返済による支出	△325,295	△337,469
リース債務の返済による支出	△2,945	△2,839
配当金の支払額	△100,427	△162,562
その他	△1,260	△1,260
財務活動によるキャッシュ・フロー	△112,928	△336,131
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	45,529	△471,930
現金及び現金同等物の期首残高	1,107,603	1,592,885
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,153,133	1,120,955

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更に関する注記）

（耐用年数の変更）

当社連結子会社であるテルコム株式会社（（2026年10月１日付で株式会社ＪＡＲＭｅＣケアテックへ社名変更）の工具、器具及び備品の耐用年数につきましては、法人税法に規定する方法と同一の基準によっておりましたが、酸素濃縮器に係る動物用医療機器認証取得を契機に、使用実態の調査を行った結果、工具、器具及び備品に含まれる酸素濃縮器について耐用年数をより実態に即した経済的使用可能予測期間に基づく耐用年数に見直し、将来にわたって変更しております。

この変更に伴い、従来の耐用年数によった場合に比べ、当中間連結会計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前中間純利益はそれぞれ48,855千円増加しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループは、動物医療関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。